

令和8年度「ひろしま AI 部」の活動について

1 要旨

産学官の連携により、高校生が AI を理解し、活用する力を身に付ける機会を提供する教育プログラム「ひろしま AI 部」では、令和7年度に引き続き、AI を使った社会や企業の課題解決をテーマにアイデアを競う成果発表会に向け、6月27日開催の「ひろしま AI 部キックオフ」から活動を開始する。

2 現状・背景

- 生成 AI の出現に代表されるデジタル技術の急激な進展に伴い、企業等においては AI などのテクノロジーを活用できる人材の育成・確保が急務となっている。
- そのため、将来の産業人材を育成する観点から、早期段階から DX 推進に積極的に取り組む県内企業との接点をもつ機会を創出し、AI 基礎の習得を支援する。

3 実施内容

(1) ひろしま AI 部キックオフの概要

日時：令和8年6月27日（土）13:00～16:00

場所：エディオン紙屋町ホール（広島市中区紙屋町2丁目1-18）

参加予定生徒：県内高校生 80 人程度

対象：ひろしま AI 部参加生徒

内容：ひろしま AI 部の活動開始にあたり、成果発表会までのスケジュールと今後の動きを確認する。また、他校との交流を通じて結束力とモチベーションを高めるとともに、「なぜ、ひろしま AI 部に参加するのか」「1年後にどうなりたいか」を明確にし、継続的に活動するためのマインドセットを形成する。

(2) 年間活動内容

ア オンデマンド講座受講

生成 AI の基礎知識から活用方法まで、自身の習熟度に合わせて段階的に学習。

プロダクト開発等で必要となる知識を体系的に習得する。

イ 企業訪問（AI チャレンジ）・ワークショップ

企業訪問では、広島県内で実際に AI を活用している企業を訪問し、現場を見学することで実社会における AI 活用可能性を探求する。

ワークショップでは、HIROSHIMA AI PITCH に向けて課題発見力とプロダクト開発力を身に着けるため、身の回りや地域の困りごとを発見し、AI を活用したアイデアを考察するほか、プロトタイプ（試作品）制作を体験する。

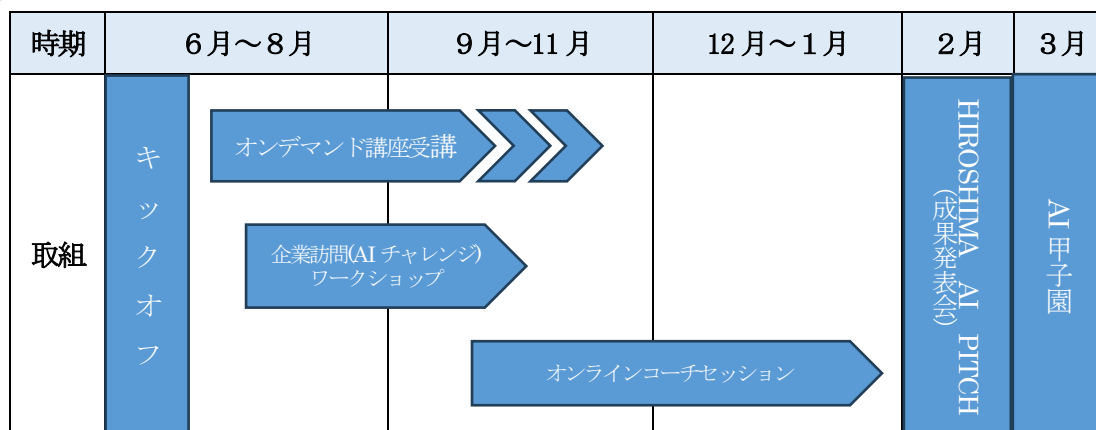
ウ オンラインコーチセッション

月に1～2回、WEB 会議システムを活用して、ひろしま AI 部運営コンソーシアム会員企業の社員（コーチ）や情報系大学に通う大学生（学生サポーター）をリアルタイムでのセッションを実施。プロダクト制作の進捗確認やアドバイスを直接受けることができるほか、リアルタイムでのセッションがない期間も Slack 等のチャットツールを用いて随時質問ができる環境を提供する。

エ HIROSHIMA AI PITCH（成果発表会）

プログラムの集大成として、ア～ウを経て制作した各校オリジナルの AI プロダクトを発表。優秀校は、3月に開催される AI 部全国大会「AI 甲子園」への出場権を獲得することができる。

(3) スケジュール



4 ひろしま AI 部運営コンソーシアムの概要

概要	ひろしま AI 部を運営するための産学官で構成する任意団体
役員	会 長 部谷 俊雄氏（株ひろぎんホールディングス代表取締役社長） 副会長 横田知事、篠田教育長
会員	産業界 47 社 広島県・広島県教育委員会

5 予算

34,500 千円（ひろしま AI 部運営コンソーシアムへの負担金：単県）

6 ひろしま AI 部ホームページ

<https://hiroshima-aiclub.org/>

7 参考（令和7年度の活動成果）

- ・プログラム参加者のうち、AI などテクノロジーを活用して課題解決することができるスキルの基礎を身に着けた生徒の割合：87.2%（187人/217人）（目標：70%）
- ・AI 基礎教育プログラム参画学校数：40校（目標：25校）

※詳細は、令和8年4月17日常任委員会提出資料番号14「令和7年度イノベーション人材等育成・確保支援事業の実施状況について」のとおり。